

も たに

母谷たつりの後援会便り

平成17年(2005年)10月 Vol.21
 発行 母谷たつりを育てる会
 ホームページ <http://www.motani.jp>
 編集 岡田 孝



市政報告

謹 啓

京都議定書発効の今年、クール・ビズに明け暮れた日本では猛暑のなか一定の成果を上げて地球温暖化防止に貢献しましたが、台風14号の襲来は中国地方でも記録的豪雨により山陽自動車道岩国・玖珂 IC 間で大規模な地すべり災害が発生し、3人の尊い命が奪われるなど全国に大きな爪痕を残しました。米国中南部を襲った大型ハリケーン・カトリーナはジャズの街として知られるニューオーリンズを壊滅状態に陥れ、未だ多くの人々が帰還できない状態にあります。

その後、パキスタン北東部で発生したマグニチュード7.6の大地震は10月20日現在で犠牲者は5万人超と伝えられ、時が経過するにつれて増加する傾向にあると報道されました。この中には国際協力機構(JICA)が派遣した植原 覚さん(36)と長男の輝ちゃん(2つ)がアパートの下敷きになって死亡するという大変痛ましい残念なニュースも伝えられました。

心からご冥福をお祈りいたしますとともにお見舞い申し上げます。

さて、第5回広島市議会定例会は9月27日から10月7日までの12日間開催され、一般会計補正予算(5,897万2千円)のほか4件の予算案と6件の条例案、その他の議案43件、専決処分案1件の55件が上程され、原案通り可決されました。

この結果、補正後における全会計の総予算規模は1兆1,597億8,437万6千円となりました。

今議会では指定管理者制度導入に伴う非公募分35件がその他の議案に含まれておりますが、制度導入の目的は行政コストの削減のみならず、多様化する住民のニーズに対し効率的・効果的に対応するとともにサービスの向上につながるものでなくてはなりません。

しかしながら市当局が定めた現在公募とされている施設の中には整合性、専門性、特殊性等これまでの度重なる本会議や委員会での審議過程を勘案すれば再検討すべきものも多く含まれていることから、議会はその見直しを強く求める決議案を可決いたしました。



行楽シーズンを前に台風14号で土砂災害が発生した世界遺産の宮島(写真は紅葉谷)

いずれにしても指定管理者制度は始まったばかりであり、広島市直営と民間委託のどちらが良いかは、その施設ごとの設置目的や危機管理上などの問題点等を含め、今後においても慎重に検討すべきであると考えております。

また、補正予算案の中には「新球場の建設場所をヤード跡地とし、建設事業予定者の選定を行うため」として、その委員会開催費用413万9千円のほか、周辺道路整備基本設計876万円、周辺騒音調査207万2千円、国との協議に係る事務費28万7千円を合わせた1,525万8千円と現球場跡地利用の検討費用として429万1千円が含まれています。

今回、調査費としてこれらの補正予算は可決されましたが、これまでの議論からは「現在地での立替えは本当に無理なのか」「建設費用の半分を広島市が負担するというが広島県や経済界が残りの半分を負担するという確約はあるのか」など不透明な問題も多く残されていることから議会内では積然としない雰囲気が熾り続けています。しかしながら、今回の調査費に関する補正予算は同地区の再開発時には球場建設に関わらず必要とされる経費であることも考慮し可決されました。

また、カープ球団に対しても「カープ自身の新球場建設に関する協力内容や努力は示されないのか」「公金を投入する以上、経営内容をもっと公開すべきではないのか」といった意見も相次ぎ、議論は混迷を深め混沌としています。新球場建設をわざわざ貨物ヤード跡地に移転してまで現在と同じオープン球場では然程替り映えのしないものになってしまうだけでなく、これまでの歴史と愛着を失い、利便性をも低下させることになれば魅力ある広島市の都市建設につながる投資効果や活性化は見込めないのでは

ないかと考えております。現に盛り上がりかけていた樽募金も「新球場建設は貨物ヤード跡地」と秋葉市長が発表した途端、募金額は下降線を辿り始め、今では樽募金を話題にする人は殆んどいなくなりました。

こうした状況下で突き進めば報道機関のアンケート調査からも明らかなように貨物ヤード跡地でのオープン球場建設は必ずしも民意を反映しているとは言い難く、これまでの広島空港や広島大学の移転で地盤沈下した広島の政策的失敗を三度繰り返すことになるのではないかと危惧しております。

今、求められていることは60年前、廃墟の中から敢然と立ち上がった広島とその先人達の言い尽くせぬ努力に対し、深い感謝と敬意の心を継承し未来に向けて今の広島を如何に建設するかということが現代に生きる我々に課せられた重要な使命であると思います。

昭和から平成へ、20世紀から21世紀へ移り行く時代の中でなかなか脱皮できなかった日本の方向は第44回衆議院総選挙(9月11日執行)によって大きく転換しようとしており、時代のうねりの中に身を置いていることを実感します。今後は、安定した国家財政の基盤を如何にして構築するのかがということと年金問題を中心とした真の社会保障制度確立が急務であると考えております。

最近では毎日に寒さを増し、秋の深まりを感じます。山々では鮮やかに彩られた紅葉がもうすぐ見頃ですね。

皆様方におかれましてはどうかご自愛の上、ご健勝でお過ごしいただきますとともにご多幸をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

広島市議会議員 母谷龍典

ご意見
ご要望は
母谷たつりのホットライン

いい汗流そう!! いい笑顔つくろう!!

私が直接
ご返事します

あなたの声を聞かせて下さい。ダイレクトメール mokkun@cc22.ne.jp へ

台風14号により災害が発生しました

広島市佐伯区湯来町の主な災害現場

衆議院選挙の真っ只中、台風14号が中国地方を直撃しました。折からの雨台風は、集中豪雨となって地域住民を恐怖のどん底へと突き落としました。その結果、山陽自動車道の法面が崩壊し、世界遺産の宮島でも土砂災害が発生しました。隣接する廿日市市佐伯町でも河川が氾濫するなど大きな被害が発生しましたが、広島市に合併したばかりの湯来町でもその被害は甚大なものとなりました。

しかしながら衆議院議員平口 洋先生は総選挙直後から精力的に現地を視察し克明にメモや写真を撮るなど早速、国の災害査定に向けた初仕事に取り組みられました。今後も多くの人から活躍に期待が寄せられています。

被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。



水内川の河川崩壊
(湯来町大字多田 湯来西小学校付近)



河川護岸(伏谷川)の崩壊による落橋現場
(湯来町大字伏谷 堀田銘木店付近)



国道433号線の道路・河川(水内川)が崩壊
頭首工の崩壊も見える(写真中央)
(湯来町大字麦谷 大出橋付近)



大谷川の土石流発生現場
県道本多町佐伯線を遮断した
(湯来町大字多田)

美鈴が丘中学校ふれあいフェスタ

美鈴が丘中学校では10月15日(土)、恒例となっている「ふれあいフェスタ」が行われました。当日はあいにく、雨模様となってしまいましたがお父さん・お母さん達は真心を込めて出店しました。今では、少子化の波がこの地区にも押し寄せて一時期の生徒数に比べ大幅に減少していますが、「我が子も人の子も皆んなで育てよう!」と会場のあちこちで、威勢のいいかけ声が聞かれ子供達との楽しいひとときを過ごしていました。

今回、Club papas (美鈴が丘おやじの会)は焼きそばの担当として300食を作って完売しました。他にもフランクフルトやポップコーン、わた菓子も販売し子供達から喜ばれました。

このサークルでは、現役・OBを問わず、なかなか学校に出向くことのできない「オヤジ」が集って活動しています。これからも子供達にしっかりと親父の背中を見せて共に仲良く、そして明るく元気に生きていきたいと思っています。

Club papas では、美鈴が丘タウンネットとリンクしたホームページを開設しています。

<http://www.misuzu-town.net/oyaji/index.html>

10月15日(土)

美鈴が丘中学校にて



お揃いの帽子とエプロンでなごやかに奮闘中です

母谷たつのもり連絡先

広島市佐伯区美鈴が丘西五丁目17番12号
E-mail mokkun@cc22.ne.jp

☎929-9002
FAX 929-9002

市議会

☎504-2443
FAX 244-1419

広島市議会ホームページ
母谷たつのもりホームページ

<http://www.city.hiroshima.jp/gikai/index.html>
<http://www.motani.jp>